プレスリリース【報道関係各位】　2021/11/8

ロウドクシャ事務局

～大乱歩の偉業を再考～

江戸川乱歩が繋いだ日本と西洋の怪奇文学

【12/4】真冬のオンライン怪談会

ロウドク芝居と文化トークの二軸で、文学作品を視覚的エンターテインメントとしてお届けするプロジェクト、**ロウドクシャ**（代表◎大沢事務所俳優／奈佐健臣）は、12 月 4 日 (土) オンラインにて、『**怪談夜宴―乱歩と覗く西洋怪談**』を開催いたします。

日本探偵小説の父**「江戸川乱歩」**は、西洋の怪奇幻想文学を発掘・紹介した水先案内人でもありました。その代表的な功績が、戦後日本における西洋怪奇幻想文学の門戸を開いたといっても過言ではない、画期的エッセイ『**怪談入門**』(『幻影城』所収）です。
本イベントは『怪談入門』を手がかりに、西洋文化が日本の作家に与えた影響などを紐解きます。



ロウドク作品／２作

①コロナ禍を髣髴とさせる疫病小説

エドガー・アラン・ポー『赤き死の仮面』

②世界中で熱狂的人気のクトゥルー神話の祖

ラヴクラフト『エーリッヒ・ツァンの音楽』

文化トークのゲストには、怪奇幻想文学界に名高い、アンソロジストの**東雅夫氏**を招聘。昨今、小説だけでなくアニメ・ゲームの世界でも人気沸騰中の**“文豪”**に焦点を当てたトークで、文学作品の裏側を刺激します。

『永遠に「新青年」なるもの』@神奈川近代文学館や、『ミステリーの系譜』@山梨県立文学館など、**日本の探偵文学・怪奇幻想文学の発展が注目された今年**。年の最後に、戦後怪談文芸興隆の父・大乱歩の遺業を再考する機会はいかがでしょうか。

■イベント詳細■

開催日時

2021 年 12 月 4 日（土） 開場 18:45 ／開演 19:00

※1 週間のアーカイブ配信あり

会場

オンライン開催（お申し込みの方に、配信 URL をお送りします）

プログラム

■ロウドクシャ公演（2 作品）

※一般参加・饗宴参加共にご覧いただけます。アーカイブ配信あり。

【映画小説】エドガー・アラン・ポー『赤き死の仮面』

※映画小説とは、映像作品に仕上げたオリジナルのロウドク芝居です。

【舞台生配信】H・P・ラヴクラフト『エーリッヒ・ツァンの音楽』

出演／奈佐健臣　演出／北川原梓

■文化トーク 第 1 部

※一般参加・饗宴参加共にご覧いただけます。アーカイブ配信あり。

【江戸川乱歩『怪談入門』から紐解く西洋怪談】

登壇／東雅夫
聞き手／北川原梓

■文化トーク 第 2 部　※饗宴参加をお申し込みの方のみ、ご参加いただけます。

第 1 部では話しきれなかったとっておきの話を、ＺＯＯＭを通して生でお聞きいただけます。ゲスト・出演者と直接お話いただけるチャンス。

登壇／東雅夫、奈佐健臣
聞き手／北川原梓

チケット

■一般参加券　3,000 円（ロウドクシャ公演＋文化トーク第 1 部）

■饗宴参加券　4,500 円（ロウドクシャ公演＋文化トーク第 1 部・第 2 部）

※開催後 1 週間アーカイブの配信付き
※アーカイブ配信は、ロウドクシャ公演＋文化トーク第 1 部のみとなっております。

予約・詳細

https://kaidanyaen-ranpo.peatix.com/

本件に関するお問い合わせ　ロウドクシャ事務局

電話　090-9379-1731　(担当 北川原)

メール　info.roudokusha@gmail.com

公式ＷＥＢサイト　https://www.roudokusha.com/

■補足資料■



2021 年 6 月 26 日開催『百閒動物夜話』（映画小説『件』より）



2018 年開催 芥川龍之介『羅生門』



2018 年 吉田篤弘『針がとぶ』



2015 年 コルタサル『夜、あおむけにされて』

■出演者プロフィール■



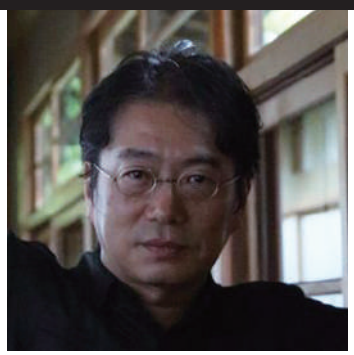
奈佐健臣（俳優）

Nasa　Kenji

大沢事務所所属／状況劇場出身

◎舞台、映画、大河ドラマ出演
「電柱小僧の冒険」「花札伝綺」「ベンガルの虎」「由井正雪」「毛利元就」「北条時宗」「春日局」「柳橋慕情」他
◎CM・番組ナレーション
SALT Dreamer ／緊急検証！／総合格闘技 DREAM 煽り V ／キス濱／全米プロゴルフ選手権 他

舞台・映画・大河ドラマ出演の他、千本を越えるＣＭナレーションも手がけ、高い評価を得ている。現在、格闘技、釣り、スポーツ、バラエティと、多岐にわたる番組のナレーションをそれぞれ担当。



東雅夫

Higashi Masao

アンソロジスト／文芸評論家

1958 年、神奈川県生まれ。
元「幻想文学」編集長。怪談専門誌「幽」編集長、編集顧問を歴任。『遠野物語と怪談の時代』で日本推理作家協会賞を受賞。著書に『百物語の怪談史』『文学の極意は怪談である』『文豪妖怪名作選』（創元推理文庫）ほか多数、編纂書に筑摩書房版『文豪怪談傑作選』、汐文社版『文豪ノ怪談 ジュニア・セレクション』、双葉社『文豪怪奇コレクション』シリーズほか多数、監修書に岩崎書店版『怪談えほん』ほかがある。https://twitter.com/obakezukinw